

製品名: TRBP ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe84219**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.71mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200,FC 1:20-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	39 kDa

抗原情報

遺伝子名	TRBP
別名	LOQS; Prbp; tarbp2; TRBP; TRBP1; TRBP2;;TARBP2
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q15633
免疫原	ヒト TARBP2 由来の合成ペプチド

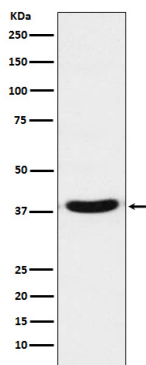
背景

RNA 誘導サイレンシング複合体 (RISC) の形成に必須。RISC ローディング複合体 (RLC) の構成要素であり、DICER1、AGO2、TARBP2 から構成される。RLC/miRISC において、DICER1 と TARBP2 は、前駆体 miRNA (pre-miRNA) を成熟 miRNA へと処理し、AGO2 にロードするために必要である。成熟 miRNA に結合した AGO2 は最小 RISC を構成し、その後 DICER1 および TARBP2 から解離する可能性がある。

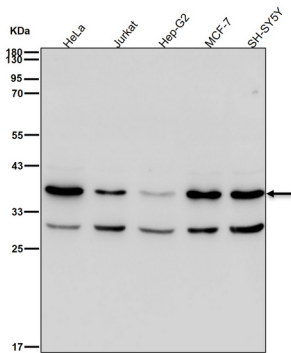
研究分野

-

画像データ



Jurkat 細胞溶解物中の TRBP 発現のウェスタンブロット分析。



すべてのレーンでは、抗体を 1:1K に希釈して室温で 1 時間使用します。